取外し・取付け

⚠ 注意

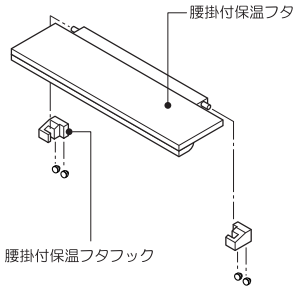
腰掛付保温フタを取り外し後は、フックに掛け、正しい位置に固定されていることを確認してください。
※腰掛付保温フタが外れてケガをする恐れがあります。

腰掛付保温フタ・フックを取り外す

腰掛付保温フタ・フックの汚れが目立ってきた場合等は、腰掛付保温フタ・フックを取り外してお掃除を行ってください。

❶腰掛付保温フタを折りたたみ、上へ取り外します。
※腰掛付保温フタは約2.5kgあります。
お掃除等で取外す際は必ず両手でしっかりと持ち、取扱いにご注意ください。

❷腰掛付保温フタフックを上へ取り外します。
※取付ける際は、「カチッ」と手ごたえがあるまで確実に取り付けてください。



お手入れ方法

●日常は、浴槽用中性洗剤を、スポンジか柔らかい布につけて洗い、水で洗い流した後、乾いた布で水分をふきとってください。

●いつも濡れたままの状態ですと、カビが発生しやすくなります。ときどき陰干しをしてください。

●お手入れのさい次のものは使用しないでください。
・酸性、アルカリ性および塩素系洗剤　　・たわし、クレンザーおよび磨き粉
※表面の光沢を失わせキズをつけたり、変色の原因になります。

株式会社 LIXIL
GPU-0306(13021)

LIXIL
INAX

風呂フタ
(腰掛付保温フタ)

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取りだせる場所に大切に保管してください。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守って下さい。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

安全上のご注意

・安全のために必ずお守りください。

ここではお客様が風呂フタを安全にご使用していただくために、人身事故や家財の被害を回避するための注意事項を挙げています。

ご使用する前にこの項目をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

※浴槽・温水器・追焚付給湯器・風呂釜等付帯する機器や部品を使用する場合は、各々の器機や部品の取扱説明書、および本体の注意事項にそってご使用ください。

用語および記号の説明

⚠ 警告 ……「取扱いを誤ると、死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 ……「取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ …… 気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

⃠ …… 行ってはいけない「禁止」の内容です。

❗ …… 必ず実行していただく「強制」の内容です。

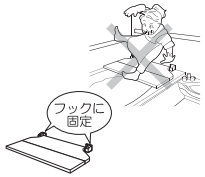
⚠ 警告

⃠ 小さなお子さまを腰掛付保温フタに乗せたまま目を離さないでください。
※落下しておぼれたり、ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

⃠ 腰掛付保温フタに立って乗ったり、握りバーに足をかけないでください。
※滑って転びケガをしたり、破損の恐れがあります。

❗ 腰掛付保温フタはフックに掛け、固定されていることを確認してからお使いください。フックが掛けられる位置以外では使用しないでください。
※腰掛付保温フタが外れて、ケガをする恐れがあります。



⃠ 他の福祉用具（浴槽に取付ける移乗台等）との併用はしないでください。
※腰掛付保温フタが外れてケガをする恐れがあります。

❗ 腰掛付保温フタに洗剤や入浴剤がついている場合は、洗い流してからお使いください。
※滑って転落し、ケガをする恐れがあります。

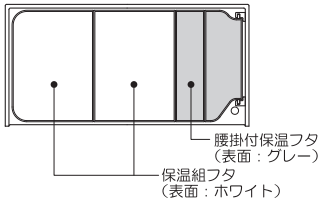
⃠ ペットを腰掛付保温フタに乗せたまま目を離さないでください。
※落下してケガをする恐れがあります。

❗ 腰掛付保温フタが破損した場合は、使用を中止してください。
※そのまま使用されるとケガをする恐れがあります。

お願い

腰掛付保温フタ以外の風呂フタに座らないでください。
※破損する恐れがあります。

安全荷重の目安は100kgまでです。腰掛付保温フタに二人同時に座らないでください。
※破損する恐れがあります。



ご使用上の注意

塩素殺菌、浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）についての注意

塩素殺菌、浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）にご使用されますと、風呂フタ表面の荒れ、退色などの変化を生じる恐れがありますので、ご使用をお避けください。

●たわしまたは、磨き粉で磨いたり、硬いものを落としたりしないでください。
※キズがついたり、破損する恐れがあります。

●中性以外の入浴剤、硫黄分を含む入浴剤や温泉水を使用しないでください。
※表面が変色する原因となります。

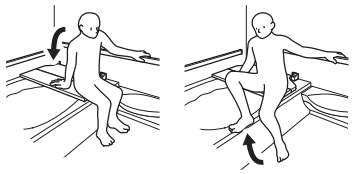
●使用上の注意事項が記載されたラベルを剥がさないでください。

使い方

浴槽へ入る場合

❶風呂フタを収納します。

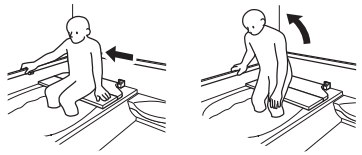
❷洗い場側から腰掛付保温フタに腰掛け、片足ずつ浴槽に入れます。



ONE POINT ワンポイント

握りバーを使ったり、腰掛付保温フタの奥に手をつく等、身体を支えながら身体を傾けると足を上げやすくなります。

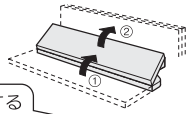
❸両足が入ったら、腰掛付保温フタの中央付近に浅く座りなおし、握りバーを使いながら立ち上がり浴槽に座ります。



ONE POINT ワンポイント

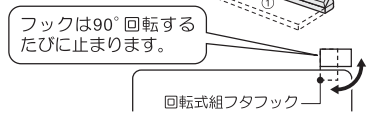
腰掛付保温フタは浴槽に入っている間等、使わない時はたたんでおくことができます。

①腰掛付保温フタを壁側へ2つに折りたたみます。
※指や手をはさまないように、ゆっくり折りたたんでください。



②腰掛付保温フタを折りたたんだ状態で壁側へ立て掛けます。
※腰掛付保温フタの周りにものを置かないでください。
開閉の際に倒れたり落下することがあります。

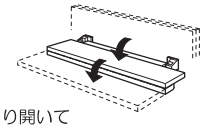
③回転式フックを回して腰掛付保温フタを固定します。



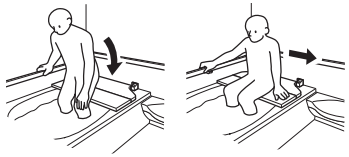
浴槽から出る場合

❶腰掛付保温フタを開きます。
※腰掛付保温フタは2つ折り状態で使わないでください。
座面が十分にとれません。

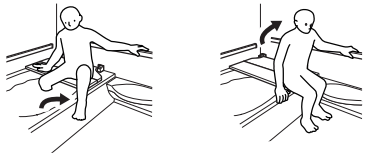
※指や手をはさまないように、ゆっくり開いてください。



❷立ち上がり、腰掛付保温フタの中央付近に腰掛け、洗い場寄りへ腰掛けなおします。



❸片足ずつ洗い場へ出します。



❹立ち上がります。